

永遠の命の交わり——キリストのからだの中に生きることの実際

聖書：Iヨハネ 1:1—2:2

永遠の命の交わり	Iヨハネ 1:2…この <b>永遠の命</b> は御父と共にいましたが、わたしたちに現れたのです Iヨハネ 1:3… <b>わたしたちと交わりを持つ</b> ためです。 <b>わたしたちの交わり</b> とは、 <b>御父との、また御子イエス・キリストとの交わり</b> のことです。
キリストのからだの交わり	Iコリント 10:16 わたしたちが祝福する祝福の杯、それはキリストの血の交わりではありませんか？ わたしたちがさくパン、それは <b>キリストの体の交わり</b> ではありませんか？

交わり	聖書
わたしたち(使徒)との交わりと神の御子との交わり	Iヨハネ 1:3 わたしたちが見たもの、聞いたものを、あなたがたにも伝えます。それは、あなたがたも <b>わたしたちと交わり</b> を持つためです。わたしたちの交わりとは、 <b>御父との、また御子イエス・キリストとの交わり</b> のことです。
使徒の交わり	使徒 2:42 そして、彼らは <b>使徒たちの教えと交わり</b> を堅く持ち続け、パンをさくことと祈りを堅く持ち続けた。
聖霊の交わり	IIコリント 13:14 主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、 <b>聖霊の交わり</b> とが、あなたがた一同と共にありますように。
霊の交わり	ピリピ 2:1 こういうわけで、もしキリストにあっていくらかでも励まし、もしいくらかでも愛の慰め、もしいくらかでも <b>霊の交わり</b> 、もしいくらかでも情け深さと同情があるなら、
キリストのからだの交わり	Iコリント 10:16 わたしたちが祝福する祝福の杯、それはキリストの血の交わりではありませんか？ わたしたちがさくパン、それは <b>キリストの体の交わり</b> ではありませんか？

永遠の命の交わり——キリストのからだの中に生きることの実際				
認識	I	永遠の命の交わり	A-D	交わりの意義と描写
			E-F	使徒の教えと交わりの原則において
生活	II	キリストのからだの生活の中の実際	A-C	交わりの二つの面(垂直、水平)
			D	交わりがすべて
維持	III	神聖な交わりの享受の中にとどまる	A-D	キリストを罪のささげ物とする
			E	キリストを違犯のためのささげ物とする
	IV	霊的な生活における四つの極めて重要な事柄の循環： 永遠の命、永遠の命の交わり、神聖な光、神の御子イエスの血		

永遠の命の交わり——キリストのからだの中に生きることの実際				
日	段落	思路	主題	要点
D1	永遠の命	意義描写	永遠の命の交わりの意義と描写(絵)	交わりの意義
				交わりの描写
D2		二面織り交ぜられた	永遠の命の交わりの二面	交わりの二面(垂直、水平) 織り交ぜられた交わり
D3	からだの生活	交わりミングリング	交わりはキリストのからだの中の生活の実際です	交わりはキリストのからだの中の実際を生きることです 交わりはクリスチャン生活のすべてです
D4	神聖な交わりの享受の中にとどまる	罪のためのささげ物の経験	神聖な交わりの享受の中にとどまってキリストを罪のためのささげ物とする	キリストを罪のささげ物とする意義
キリストを罪のささげ物とする経験				
キリストを罪のためのささげ物とすることと全焼のためのささげ物とすることの関係 罪は自分自身のためである				
D6		違犯のためのささげ物の経験	霊的な生活における四つの極めて重要な事柄の循環： 永遠の命、永遠の命の交わり、神聖な光、神の御子イエスの血	

まとめ	
交わりの生活、交わりの中にとどまる、交わりととりなし(の祈り)	
交わりの生活	織り交ぜられた交わりの中にとどまる
交わりの中にとどまる	光の中で自分の罪を認める(告白する)
交わりととりなし	小組の集まりで実行する

## 認識

### 永遠の命の交わりの意義と描写

I. ヨハネの手紙、特に彼の第一の手紙は、永遠の命の交わりについての奥義を明らかにしています—— I ヨハネ 1:3-4, 6-7 :

#### \*A-D: 交わりの描写

- A. 交わりは、すべての信者の内側にある永遠の命の流れであり、それは新エルサレムにある命の水の流れによって例証されています。キリストのからだの実際、実際における召会生活は、わたしたちの内側におられる主イエスの流れです。この流れる方は、わたしたちの内側で第一位とならなければなりません——2-4 節. 啓 22:1. コロサイ 1:18 後半. 参照、エゼキエル 47:1。
- B. 交わりは、流れる三一の神です。御父は命の源泉であり、御子は命の泉であり、その霊は命の川です。この流れは、永遠の命の総合計、すなわち、新エルサレムという結果になります——ヨハネ 4:14 後半. 啓 22:1-2。
- C. 交わりは、三一の神、すなわち、父、子、霊を、信者たちの中へと分け与えて、彼らの唯一の分け前と祝福とならせ、彼らに今日、また永遠にわたって享受させることです——I コリント 1:9. II コリント 13:14. 民 6:22-27。

#### \*交わりの意義

- D. 交わりは、個人的な利益を捨て去って、特定の共通の目的のために他の人たちと結合することを示します。このゆえに、神聖な交わりの中にいることは、わたしたちの個人的な利益をわきへ置き、使徒たちや三一の神と結合して、神の定められた御旨を遂行することです——使徒 2:42. I ヨハネ 1:3。

#### \*E-F: 使徒の教えと交わりの原則において

- E. 交わりは、教えからやって来ます。もしわたしたちが間違った事を教えたり、使徒たちの教え、すなわち、神のエコノミーの教えと異なる事を教えるなら、わたしたちの教えは、分派的で分裂的な交わりを生み出すでしょう——使徒 2:42. I テモテ 1:3-6. 6:3-4. II コリント 3:8-9. 5:18。
- F. ヨハネの第一の手紙が啓示していることは、神聖な交わりの原則です。ヨハネの第二の手紙が啓示していることは、キリストを否定する人たちとわたしたちは交わりを持ってはならないということです (7-11 節)。ヨハネの第三の手紙が啓示していることは、わたしたちが神の家族の一つの交わりの中にとどまるべきであるということです。それは、福音と言葉の務めとのために旅をする人たちを、神にふさわしく送り出すことによってであり、また召会の中でかしらになることを愛さないことによってです (5-10 節)。

## 生活

### キリストのからだの生活の中の実際

II. 永遠の命の交わりとは、その霊の一の中でキリストのからだの中に生きることの実際です——I コリント 10:16-18. 使徒 2:42. エペソ 4:3 :

#### \*神聖な交わりの二つの面(垂直、水平)

- A. わたしたちは、神聖な霊、すなわち聖霊によって、神聖な交わりの垂直の面に入ります。交わりのこの面は、わたしたちが三一の神を愛して彼と交わることを指しています——II コリント 13:14. I ヨハネ 1:3, 6. マルコ 12:30。
- B. わたしたちは、人の霊によって、神聖な交わりの水平の面に入ります。交わりのこの面は、わたしたちが霊を活用して互いを愛することによって、互いに交わることを指しています——ピリピ 2:1. 啓 1:10. I ヨハネ 1:2-3, 7. I コリント 16:18. マルコ 12:31. ローマ 13:8-10. ガラテヤ 5:13-15。

#### \*織り交ぜられた交わり

- C. 一つの神聖な交わりは、織り交ぜられた交わりです。すなわち、水平の交わりは垂直の交わりと織り交ぜられています :
1. 使徒たちの初期の経験は、御父との、また御子イエス・キリストとの垂直の交わりでした。しかし、使徒たちは永遠の命を他の人たちに伝えたとき、神聖な交わりの水平の面を経験しました——I ヨハネ 1:2-3. 参照、使徒 2:42。
  2. わたしたちと聖徒たちとの水平の交わりは、わたしたちを主との垂直の交わりへともたらします。その後、わたしたちと主との垂直の交わりは、わたしたちを聖徒たちとの水平の交わりへともたらします。

3. わたしたちは、神聖な交わりの垂直の面と水平の面の両方を維持して、霊的に健康にならなければなりません——参照、Iヨハネ1:7, 9。

### \*交わりはクリスチャン生活におけるすべてです

D. 神聖な交わりは、クリスチャン生活におけるすべてです：

1. 交わりがなくなると、神もなくなります。神は交わりとしてやって来ます——IIコリント13:14. 啓22:1。
2. この神聖な交わりの中で、神はわたしたちと織り交ぜられます。このように織り交ぜることは、神と人とのミングリングであり、神聖な構成要素をわたしたちの霊的存在の中へともたらし、わたしたちを命において成長させ、造り変えます——レビ2:4-5。
3. 神聖な交わりは、わたしたちをブレンディングし、わたしたちを調節し、わたしたちを調整し、わたしたちを調和させ、わたしたちを共にミングリングして、一つからだとならせます——Iコリント10:16-18. 12:24-25。

### 維持

#### 神聖な交わりの享受の中にとどまる

III. 神聖な交わりの享受の中にとどまるために、わたしたちはキリストを、わたしたちの性質の中の内住の罪のために、罪のためのささげ物とする必要があります、またわたしたちの振る舞いの中の罪深い行為のために、違犯のためのささげ物とする必要があります——Iヨハネ1:8-9. 3:20-21. レビ4:3. 5:6. ヨハネ1:29. ローマ8:3. IIコリント5:21. Iペテロ2:24-25：

#### \*A-D:キリストを罪のささげ物とする

- A. 罪はサタンの邪悪な性質です。サタンはアダムの墮落を通して、自分自身を人の中へと注入しました。そして今や不法の罪深い性質となって、墮落した人の中で一つの法則として住み、活動し、働いています——ローマ5:12, 19前半, 21前半. 6:14. 7:11, 14, 17-23. 詩51:5. Iヨハネ3:4. 参照、IIテサロニケ2:3, 7-8。
- B. キリストをわたしたちの罪のためのささげ物とすることの意味は、わたしたちの古い人が対処されること（ローマ6:6）、墮落した人の性質の中にある罪が罪定めされること（8:3）、罪そのものであるサタンが滅ぼされること（ヘブル2:14）、この世が裁かれること、この世の支配者が追い出されることです（ヨハネ12:31）：
  1. 「この世の支配者」の「支配者」という言葉は、権威や権力、また権力を求める争いを暗示しています——ルカ4:5-8. 参照、マタイ20:20-21, 24. IIIヨハネ9節。
  2. 権力を求める争いは、肉、罪、サタン、この世、この世の支配者から出てきた結果、結末です——ガラテヤ5:16-17, 24-26。
  3. わたしたちの肉の中にある罪の法則は、自然な力、強さ、活力であって、神と争います。罪のためのささげ物の法則は、わたしたちが享受している霊なるキリストの命の法則であって、それはわたしたちを罪の法則から自動的に、自然に解放します——ローマ7:23. 8:2. レビ6:24-30. 参照、7:1-10。
- C. わたしたちが、わたしたちの罪のためのささげ物としてのキリストにあずかるのは、彼をわたしたちの命として、すなわち、他の人の罪を負う命として享受するという意味においてです。それによってわたしたちは、神の民の問題を負うことができます。それはキリストを彼らに、罪を対処する命として供給し、彼らをその霊の一の中に保つことによってです——Iヨハネ5:16. レビ10:17。
- D. 光である神とわたしたちとの真の、親密な、生きた、愛情に満ちた交わりを通して（Iヨハネ1:5. コロサイ1:12）、わたしたちは自分が罪深いことを認識し、キリストをわたしたちの罪のためのささげ物、また違犯のためのささげ物とします：
  1. わたしたちは主を愛して享受すればするほど、ますますわたしたちは自分がどんなに邪悪であるかを知ります——イザヤ6:5. ルカ5:8. ローマ7:18。
  2. 自分が罪深い性質を持っていることを認識し、キリストをわたしたちの罪のためのささげ物とすることによって、わたしたちは裁かれ、征服させられます。この認識はわたしたちを保護します。なぜなら、それによってわたしたちは自分自身の中に何の確信も持たないようになるからです——ピリピ3:3. 参照、出4:6。
  3. 神を表現し代行するという目的のために神によって創造された人は、神以外のもののためであるべきではなく、絶対的に神のためであるべきです。こういうわけで、何であれわたしたちが自分自身から行なう事は、良い事であれ悪い事であれ、それ

は自分自身のためです。それは自分自身のためであって、神のためではないのですから、それは神の目に罪深いものです。罪は、自己のためであることです——創1:26. イザヤ 43:7. ローマ 3:23 :

- a. 自分自身のために主に仕えることは、罪です。自分自身を宣べ伝えることは、罪です——民 28:2. 列王下 5:20-27. マタイ 7:22-23. II コリント 4:5。
  - b. わたしたちの義なる行為をすること、例えば、施しをすること、祈ること、断食することは、自分自身のために、自分自身を表現し見せびらかすためであるなら、それは罪です——マタイ 6:1-6。
  - c. 自分自身のために（自分の名声、地位、益、誇りのために）、他の人たちを愛することは、罪です。自分自身のために、自分の将来のために子供たちを育てることは、罪です——ルカ 14:12-14. 参照、I コリント 7:14。
4. 主はわたしたちの失敗を用いて、わたしたちがどんなにひどく、醜く、忌むべき者であるかをわたしたちに見せます。それによってわたしたちは、自己からのものすべてを放棄し、完全に神に頼るようになります——詩第 51 篇. ルカ 22:31-32. ローマ 8:28。

#### \*E: キリストを違犯のためのささげ物とする

E. キリストを違犯のためのささげ物の実際とすることは、贖う方、照らす方、支配する方として彼を経験し、命の交わりの中で命の供給としての彼を享受することです——I ヨハネ 1:1-2:2. 啓 21:21, 23. 22:1-2 :

1. わたしたちはキリストをわたしたちの違犯のためのささげ物とすると、わたしたちのすべての罪と純粹でないものを徹底的に告白して、正しく純粹な良心を持つ必要があります——使徒 24:16. I テモテ 1:5, 19. 3:9. II テモテ 1:3. ヘブル 9:14. 10:22。
2. もしわたしたちが自分の罪を告白するなら、神はご自分の言葉において信実であられるので、わたしたちの罪を赦してください、またご自分の贖いにおいて義であられるので、すべての不義からわたしたちを清めてくださいます。さらにまた、わたしたちの長兄であるキリストは、御父と共にあるわたしたちの弁護者であり、わたしたちと御父との中断した交わりを回復してください。それはわたしたちが神聖な交わりの享受の中に住むためです——I ヨハネ 1:7, 9. 2:1-2。
3. 神の御子イエスの血の清めが解決するのは、神からの分離の問題、わたしたちの良心における罪定めの問題、サタンからの訴えの問題です。こうしてわたしたちが神の臨在に満ちた日常生活を持つことができるようにします——詩 103:1-4, 12-13. 32:1-2. 啓 12:10-11。
4. 神聖な光の中でわたしたちの罪を告白して、キリストをわたしたちの違犯のためのささげ物とすることは、生ける水としてのキリストを飲んで、わたしたちが新エルサレムとなるための道です——ヨハネ 4:14-18。
5. キリストをわたしたちの違犯のためのささげ物として受け入れ、罪の赦しを受けることの結果は、わたしたちが神を恐れ、神を愛することです——詩 130:4. ルカ 7:47-50。

#### 霊的な生活における四つの極めて重要な事柄の循環:

永遠の命、永遠の命の交わり、神聖な光、神の御子イエスの血

IV. わたしたちは神聖な交わりの中でキリストを享受しているとき、わたしたちの霊的生活における四つの極めて重要な事柄の循環を絶えず経験します。それは、永遠の命、永遠の命の交わり、神聖な光、神の御子イエスの血です。そのような循環はわたしたちを、神聖な命の成長において前進させます。そしてついにわたしたちは命の円熟へと至り、一人の完全に成長した人に団体的に到達し、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達します——I ヨハネ 1:1-9. ヘブル 6:1. エペソ 4:13。